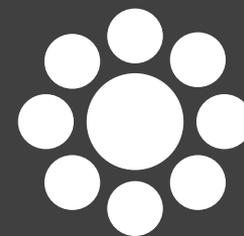


大名庭園と現代テーマパークの類似性

担当教員：相田 明



Contents



1. 歴史的背景から読み解く類似性
2. 調査の目的
3. 比較対象施設の概要
4. 類似点①：景の中心
5. 類似点②：障り
6. 類似点③：明暗
7. “もてなし”としての演出
8. 総括

1.歴史的背景から読み解く類似性



■そもそも大名庭園とは・・・

中央の池を中心に回遊する庭園様式で、流行の植物(伝統園芸品種)を植え、京都や中国、和歌に歌われている景色など**好みの景色**を庭の中に再現した殿様のテーマパーク

■現代のテーマパークとは・・・

文化や国、時代、キャラクターなど**特定のテーマ**に合わせて全体を演出する大規模な観光施設



大名庭園は、**現代で言うテーマパーク的な施設**で、日本中の大名や公家などが集まり、**楽しむための社交場**として整備されていた。

2.調査の目的



大名庭園とテーマパークは、一見全く違う、建設目的も違う空間のように見えるが、その実は同じ造園空間であり、江戸時代の大名庭園で既に用いられていた技法が使用されていることが多い。

殿様が楽しむため



お客が楽しむため



今回の視察では、視察研修で訪れた水前寺成趣園とディズニーランドの2つの施設について調査し、造園技法の類似性について考察する。

2.調査の目的



■調査対象施設

大名庭園 ：水前寺成趣園(熊本市)

テーマパーク ：ディズニーランド

■調査で分かった造園技法の類似点

1.景の中心

庭園の構成要素の内、何を主として構成するか

2.障り

姿をあからさまに見せないようにすること

3.明暗

明部と暗部を意識的に組み入れ変化を持たせる

3.比較対象施設の概要：大名庭園



■水前寺成趣園



藩主	細川忠利（熊本藩初代藩主）
面積	7万3000m ²
完成	1636年（寛永13年）以降から作庭
所在地	熊本県熊本市
備考	東海道五十三次を模した庭園

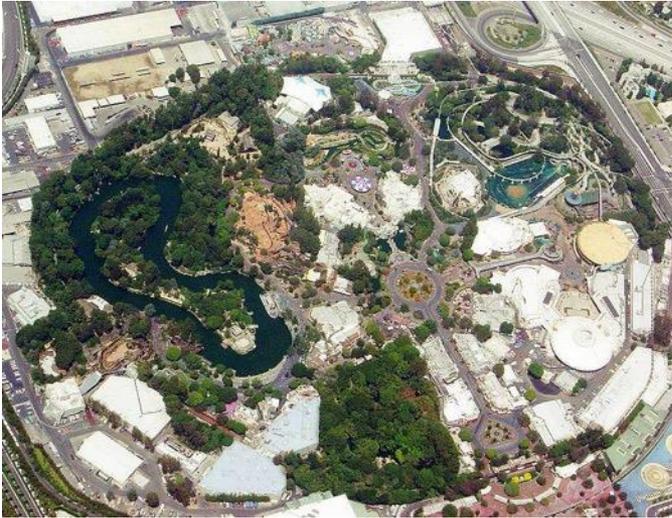
✓ Point

- 熊本市にある大名庭園(名勝)
- 細川忠利が築いた水前寺御茶屋が発端
- 阿蘇伏流水が湧出して作った池を中心にした桃山式回遊庭園で、築山や浮石、芝生、松などの植木で構成
- 東海道五十三次の景勝を模したと言われている。

3.比較対象施設の概要：テーマパーク



■ ディズニーランド・パーク



事業主体	ウォルト・ディズニー・カンパニー
面積	37万m ² （東京DL51万m ² ）
来場者数	1866万人
開園	1955年7月17日
所在地	アメリカ合衆国カリフォルニア州

✓ Point

- ディズニー社にとって初のテーマパーク建設
- ウォルト・ディズニー本人が細部にまで拘って設計
- 大人と子供の両方が楽しめる、恒久的な娯楽施設を目指して建設されたテーマパーク

3.比較対象施設の概要：テーマパーク



■東京ディズニーランド



事業主体	株式会社オリエンタルランド
面積	51万m ²
来場者数	約1800万人
開園	1983年4月15日
所在地	千葉県浦安市

✓ Point

- アメリカ以外で建設された最初のディズニーランド
- DLPより広い51万m²の敷地面積
- フロリダ、カリフォルニアに次ぎ世界3位の規模を誇る

4.類似点①：景の中心



■景の中心とは・・・

庭園はその構成を材料によって分類すると、池、築山、彫刻品、四阿などの局部が組み合わさってできているが、そのうちでも、何を主として構成するか、すなわち景観の中心を決定し、この主要局部の大きさ、形、敷地上に於ける位置を決定することが必要である。

<永島正信（1967） 庭園の設計－誰にでもわかる造園技術－ 92>

即ち

庭園内の象徴となるような要素（景の中心）を庭の中に作ること。象徴となりうるには、視覚的に全庭園の中心としての力強さや品位に富んだ姿であることが重要

4.類似点①：景の中心



■ ディズニーランドパーク（カリフォルニア）

★シンボル



眠れる森の美女の城

- テーマパークのシンボルとなる城を配置
- 城の周りの土地は低くし、視覚的に城が大きく見えるように意図して造成されている。

4.類似点①：景の中心



■水前寺成趣園(熊本市)

★シンボル



富士築山



- 富士山を模した築山
- 入口より奥は地盤が高く、また池の水面は地盤高より低くなっている
- 相対的に富士築山が大きく見えるように感じる

<横断図>

5.類似点②：障り



■障りとは・・・

“さわり”一口に言えば、姿をあからさまに見せないようにすること。（中略）洗いざらい隅から隅まで見えているよりは見え隠れする部分があれば、隠れている部分については、どこまで広がっているか想像の範囲となってくるので、それが朱更に大きく、又変化に富んだものに感じられて、奥行きのあるそして厚みのある景観をつくりだせるものなのである。

<永島正信（1967） 庭園の設計 一誰にでもわかる造園技術一 12>

即ち

庭園内の構成要素を、支障物を設置することであえて見え隠れするように設計する。そうすることで、人は想像力を働かせ、より奥行きのある景観が作り出せる。

5.類似点②：障り（パターンA）



■ ディズニーランド・パーク（カリフォルニア）

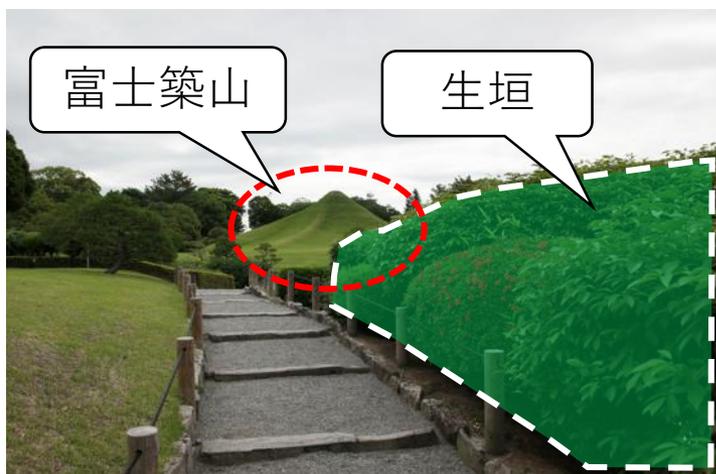


- 入口から正面に向けては見通しの**良い直線道路**
- 各エリアを結ぶ道は**複雑に入り込んだ線形**になっている
→ **パーク内を広く見せる効果**
- シンボルとなる城が見えたり見えなかったりする。

5.類似点②：障り（パターンA）



■水前寺成趣園(熊本市)



- 散策路の先が見通せないような造りになっている
- 隠れている部分を作ることで、人は想像を働かせるため、奥行きと厚みのある景観が生み出せる
- 所々生垣を配置することで、庭園を散策中にシンボルとなる富士築山が見え隠れするようになっている

5.類似点②：障り（パターンB）



■東京ディズニーランド



入場してすぐの景色



さらに奥に進んだ景色

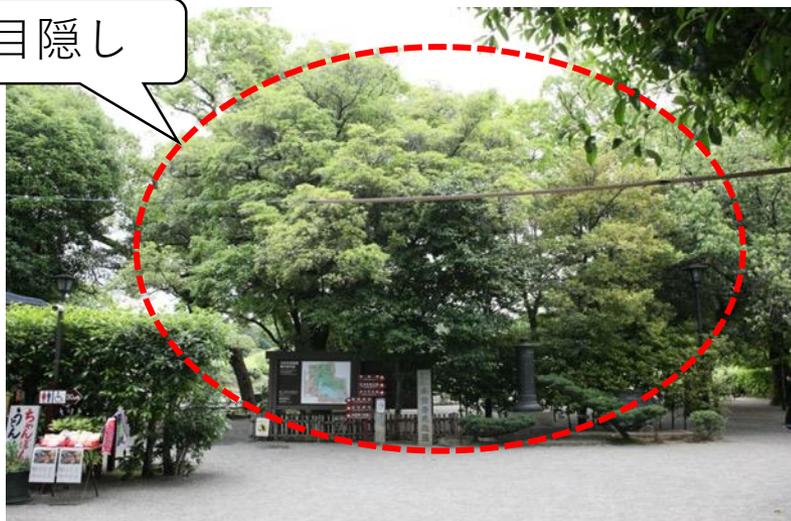
- 入場してすぐに、メインエントランスが出現
- すぐには、パーク内やシンデレラ城が見渡せないためゲストの**高揚感を煽る効果**がある。
- 中に入ると、華やかな建物や装飾の効果等が相まって更なる高揚感を創出できる。

5.類似点②：障り（パターンB）



■水前寺成趣園(熊本市)

目隠し



入場してすぐの景色



さらに奥に進んだ景色

- 入場してすぐは、樹木や看板などの目隠しによって、庭園内の全景を見渡すことができないため、**来場者の高揚感を煽る**効果がある。
- 中に入ると、広大な庭園風景が広がっており、**より壮大な景観**に感じる。

6.類似点③：明暗



■明暗とは・・・

人は生活においても常に、変化を求めてやまないものである。（中略）専門の造園化が狙う変化の最も大きいものがここに言う明暗の変化を求める。（中略）薄暗い植込みの中の苑路を出て急にパッと展けた明るい芝生、この取り合わせは芝本来の持つ明快な感じをより新鮮なものにしてくれるのである。

〈永島正信（1967） 庭園の設計－誰にでもわかる造園技術－ 14〉

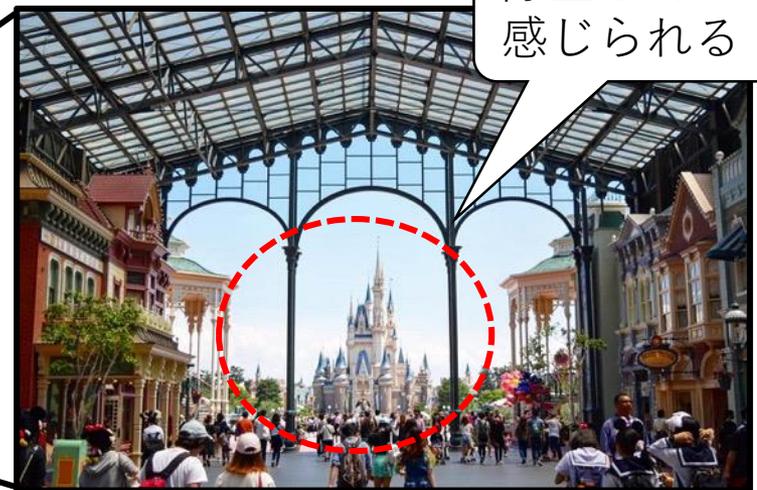
即ち

明部と暗部を意図的に庭の中に取り入れることで、明暗の対比が強調され、**明部の部分がより引き立ち、庭園内に一種のリズムが生み出される効果**がある。

6.類似点③：明暗



■東京ディズニーランド



- 入場ゲートを抜けるとアーケードの商店街がある。
- アーケード内は影が落ちて光度が低いため、視線の先にあるシンデレラ城が明るく際立っているように感じられる。

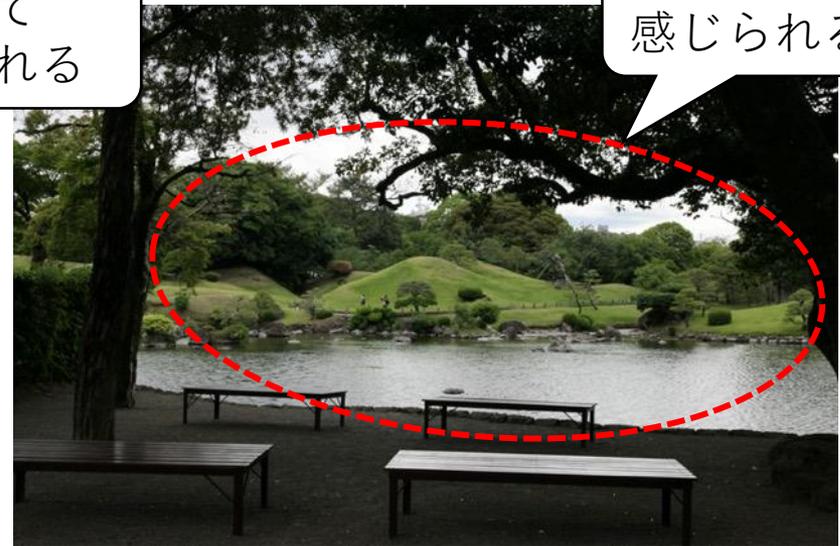
6.類似点③：明暗



■水前寺成趣園(熊本市)



際立って
感じられる



際立って
感じられる

入口付近から見た庭園の全景

休憩施設から見た庭園の全景

- 入場してすぐの場所や、ベンチのある休憩施設付近には、**樹木が影を落としている。**
- 立ち位置と視線の先の**明暗差が非常に大きい**ため、**庭園の全景が際立つ。**

7.“もてなし”としての演出



■将軍家光の蒲生邸への御成

- 1624年（寛永元年）三代将軍徳川家光が若松城主が蒲生忠郷の屋敷を訪れた時の話

庭園の中にはひっそり佇む杉皮葺きの茶店があった。家光は庭園を回遊してこの茶店で休息をとった。

将軍の御成など知りもしないで、山中の茶店をあずかる子供は居眠りをしている。その子供は突然の来客に驚き、急いで谷を駆け降りてひょうたんに水を汲み、野趣溢れる茶を点てた。その後、家光が立ち去ろうとすると、その子供は来客が将軍とも知らずに袖を引っ張って茶代を要求した。

これは全くの演出であり、将軍家光はこの趣向が大変気に入ったという。



〈白幡洋三郎（19984～6月期）NHK人間大学庭園の美・造園の心ヨーロッパと日本 41〉

大名庭園は、演出も含めて**普段の来客が味わえない風情を楽しませ**、もてなす舞台となっている

8.総括



類似点	水前寺成趣園	ディズニーランド
景の中心	<ul style="list-style-type: none">✓ 富士築山✓ 強調されるよう、地形の高い箇所<small>箇所</small>に配置されている。	<ul style="list-style-type: none">✓ 眠れる森の美女の城✓ 城の手前の土地を低くすることで大きく見せている。
障り	<ul style="list-style-type: none">✓ 歪曲した散策路で、先を見通せない造りとなっている✓ 生垣などで、入場後すぐには庭園の全景が見えないように作られている	<ul style="list-style-type: none">✓ 各エリアを結ぶ道が歪曲し、パーク内を広く見せている。✓ 建物の壁で、入場後すぐはパークの全景が見えないように作られている。
明暗	<ul style="list-style-type: none">✓ 樹木の影の暗部と庭園の明部との対比で、庭園の全景を強調している。	<ul style="list-style-type: none">✓ アーケードの屋根で暗部を作り、視線奥のシンデレラ城が際立っている。
演出	<ul style="list-style-type: none">✓ お殿様を庶民と同じ扱い方をし、その創造の世界の中に入り込んだような体験をしよう。	<ul style="list-style-type: none">✓ ディズニーの世界を演出するための“キャスト”と“ゲスト”という関係性

参考文献



- ✓ 庭園の設計 誰にもわかる造園技術
永島正信著、理工図書
- ✓ ウォルト・ディズニー 創造と冒険の生涯
ボブ・トマス著、玉木悦子訳、能登路雅子訳、講談社
- ✓ 想像の狂気 ウォルト・ディズニー
ニール・カブラー著、中谷和男訳、ダイヤモンド社
- ✓ NHK人間大学 庭園の美・造園の心 ヨーロッパと日本
白幡洋三郎著、日本放送出版協会

